



1

薄衣小学校

情操教育に力を入れ、人材を育成
閉校後は新生川崎小学校に

薄衣小学校(廣長秀一校長、児童153人)の閉校式は3月17日に行われた。全校児童、保護者、教職員、住民、関係者など約400人が見守る中、141年の歴史に幕を閉じた。

あいさつに立った廣長校長は「これまで数多くの思い出を育んできた薄衣小学校は、その歴史を閉じます。児童の皆さんは、統合する門崎小学校の皆さんと力を合わせて新しい歴史を築いてください」とエールを送った。

全校児童による「お別れのことば」では、閉校までの歩み、学校行事、クラブ活動での思い出などを紹介したほか、新しい学校生活に向けての決意を発表。その後、「ありがとう薄衣小、さようなら薄衣小」と声をそろえて締めくくった。

式最後に廣長校長から鈴木市教育委員会委員長へ校旗が返納され、全員で校歌を斉唱。141年の歴史に終止符を打った。



2



3

1)約400人が出席した薄衣小の閉校式。廣長校長から鈴木市教育委員会委員長へ校旗が返納され、141年の歴史の幕が下りた/2)惜別の思いを胸に式に臨む出席者/3)大正10年頃に植えられたといわれる桜の木は薄衣小のシンボリック的存在/4)「お別れの言葉」でこれまでの思い出や感謝の気持ちを発表する153人の児童



■校長 廣長秀一
■児童数 153人
■所在地 薄衣字泉台50
■創立 1872(明治5)年

曾慶小学校

地域と共に児童を育み139年
歴史の幕引きに多くの人が惜別の涙



3



4

曾慶小学校(新毛公生校長、児童60人)の閉校式は3月16日に行われ、児童、保護者、教職員、住民、関係者など約300人が出席した。

式では、新毛校長が「子供たちは、4月から大東小学校で多くの仲間と出会い切磋琢磨できる生活に入ります。子供たちが、さらなる力を発揮して新たな時代を切り開いていけるよう、引き続き指導をお願いしたい」とあいさつした。

同日は「惜別の会」も行われ、歴代の校長、PTA会長やこれまで学校運営に協力してきた個人・地域団体へ感謝状が贈呈された。また、同校児童が中心となって活動する音楽グループ「ドリームキッズ」がアトラクションで出演。元気いっぱいの子供たちが中心となった。

同校は、1874(明治7)年10月に創立。これまで巣立った卒業生は約2千400人。東に室根山を望み、地区の中央部を曾慶川が流れる自然豊かな環境で、学校と地域が一体になって児童を育んできた。



■校長 新毛公生
■児童数 60人
■所在地 曾慶字神蔭41
■創立 1874(明治7)年



4



私は、薄衣生まれの薄衣育ち。母校が閉校する最後の一年を勤務することに複雑な気持ちでした。今までの薄衣小学校の伝統を受け継ぎ、子供たちの心に残る一年にしたいという思いで過ごしてきました。



私たちが最後の卒業生。141年の歴史がある学校を誇りに思います。悲しい気持ちでいっぱいだけど、心からありがとうと言いたい。後輩たちには門崎小のみならず、もっといい学校にするよう頑張ってください。



薄衣小学校の歴史を振り返ると、家庭と地域の協力が伝統となっていることが分かります。これまで諸先輩方が築いてきた薄衣の良い伝統を新しい川崎小学校に伝えていけるよう努力していきます。



薄衣小が、共に歩み続けてきた地域の皆さんの心いつまでも深く刻まれることを願っています。子供たちには、新しい学校で新しい仲間、地域の皆さんとたくさん交流して仲良くなってほしいです。



139年の歴史を誇る曾慶小学校も閉校を迎えます。子供たちとともに地域の歴史を振り返り、その素晴らしさに実感しながら取り組んだ一年でした。これまで本校を育んでくれた地域の皆さんに感謝します。



6年間通った小学校がなくなるのはやっぱり寂しいです。最後の1年、地域の皆さんと一緒に頑張った運動会が一番の思い出です。曾慶小学校で学んだことを大東小学校に引き継いでほしいです。



曾慶小学校がなくなりますが、地域には、未来を担っていく子供たちがいます。子供たちは、未来を明るく映し出し、前進していくことができます。大東小学校として新たなスタートを切ることを祝福します。



曾慶小学校は、地域唯一の小学校として、多くの人材を育んできました。歴史・伝統のある学校がなくなること寂しさを感じます。次世代を担う子供たちが健やかに学び羽ばたける学校作りに期待します。